

(第28号)

2016年7月15日

民権連通信

民主主義と人権を守る府民連合（民権連）

〒556-0024 大阪市浪速区塩草 2-2-31

TEL (06) 6568-2031 fax (06)6568-2047

民権連は6月23日、大阪府府民文化部長と教育長に対して以下の申し入れを行いました。

大阪府府民文化部 部長様

大阪府 教育長様

2016年6月23日

民主主義と人権を守る府民連合

執行委員長 谷口 正暁

民権連に対する差別扱いについての申し入れ

民権連は、大阪府と府教育委員会それぞれに対して、毎年、要望書を提出し関係部署から回答文書をいただくとともに、応接の対応を受けてきた。

しかし、府広報広聴課が作成するホームページ「団体広聴の結果について」は、民権連の府教委への要望書・議事要旨・文書回答は、2010（平成22）年度を最後とし、以後5年間、いっさい掲載されていない。

その一方で、部落解放大阪府共闘会議教育部会の要望書・議事要旨・文書回答は毎年掲載されている。

これでは、特別法時代の「窓口一本化」に他ならない。団体によって差別することは許すことができない。差別をなくし民主主義と人権を守るために活動してきた民権連に対する侮辱である。

以上のことから、以下の点を申し入れる。

- 1、民権連の府教育委員会への要望書提出や回答、応接がなかったことにする意思決定をしたのは、どの部署か。明らかにされたい。
- 2、「団体広聴の結果について」の作成は府民文化部府政情報室広報広聴課の作成とされているが、府教育委員会との応接は事前に報道発表されてきたにもかかわらず、その後、回答文書や議事内容の報告を教育委員会に求めないのは府民への広報の役割を果たしていないのではないか。
- 3、教育委員会との応接では、それまでの応接の内容「回答」について、当局側が知らなかったり、明確に確認しようとしなかったことで無用な時間を費やす例があった。民権連との応接をなかったことにする姿勢があるのではないか。
- 4、この差別扱いについて、責任の所在が明らかとなった場合はもちろん、明らかにされない場合にも、我々は所属長（府民文化部長、教育長）の誠意ある対応を求め行動することをあらかじめ通告しておく。

全国地域人権運動総連合第7回定期大会（広島市）



全国人権連第7回定期大会は6月11～12日広島市内で開催され、16～17年度運動方針・予算案、役員改選を採択、「参議院選挙勝利」「『部落差別』固定化法断固阻止」の特別決議を満場一致で確認しました。中央役員には大阪から、谷口正暁（常任幹事）、北脇輝夫・坂東勝（幹事）が選出されました。大会では、北脇輝夫代議員が「この間の大阪府における変化を紹介。「部落差別永久化法」が通れば、我々のこれまでの努力が水の泡になる、絶対に阻止しよう」と訴えました。柏木功代議員は、府教委交渉、教科書会社への申し入れ、文科省要求の是正について発言、「国や行政、権力者、解同が啓発・教育するという構図は、私たちの闘いぬきに崩れるものではない、歴史に背を向ける教育・啓発をやめさせるために、ともに頑張りましょう」と発言しました。

部落差別永久化法案は廃案へ

緊急学習会

日時 7月30日（土）午後2時～

会場 四ツ橋・近商ビル館9A会議室

最寄駅：地下鉄四ツ橋線・四ツ橋駅③番出口徒歩1分

御堂筋線・心齋橋駅 北改札から徒歩7分

＜講師・報告者＞

国会報告：清水ただし衆議院議員

法案の問題点：石川元也弁護士

逆流は許さない：谷口正暁（民権連委員長）

（資料代 500円）

主催 民主主義と人権を守る府民連合（民権連）

＜参議院選挙＞

10日投・開票の参議院選挙は野党共闘11選挙区で勝利、日本共産党は改選3議席を上回る6議席を獲得しました。与党は大争点になった憲法9条改定にふれず、争点隠しと野党共闘攻撃に終始しました。おおさか維新の会は7議席を獲得し、改憲勢力が3分の2を超えました。野党と市民の共闘をさらに前進させ、安倍政権の暴走許すな、子や孫たちに憲法を無傷で手渡すために頑張りましょう。

第13回民権連大会メッセージ
・大阪教職員組合
・大阪市をよくする会
有り難うございました。